



ボランティア通信 2018. 5 Vol. 217

なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(☎894-3737)

ボランティア活動の継承と発展を目指して

私たちが加盟している大阪府市町村ボランティア連絡会には、昨年の時点で33の地区市町村が加盟しており、4つのブロック単位で地域の交流会で情報交流等が行なわれています。交野市は河北ブロッ

活動の基本姿勢

平成30年度のスタートにあたり、ボランティアのみならず、ボランティアのみなさんと一緒に気持ち新たにしながら諸課題に取り組んで参ります。ボランティアグループを取りまく環境は厳しさを増していますが、常にポジティブに、そして楽しくボランティア活動が続けられる環境作りに注力したいと思っています。ボランティアのみなさまのご理解とご協力をお願い致します。



ボランティアグループ連絡会 川下会長

向こう2年間の活動も基本的なスタンスは変えることなく、内容の充実と新たな視点を大切にしていきたいと思っています。昨年の健康福祉フェスティバルで取り組みました高齢者疑似体験はその一つでもあります。また、障がい者支援の取り組みでは前進を

活動の発展性を求めて

これらに属しています。各市町村の活動はそれぞれの歴史の中で特色を持っています。その中で交野市のV連の活動は先駆的な取り組みをしているとの評価をいただいています。それは毎月開催されるリーダー会、広報紙「なかま」の発行、そして自主的なイベント開催など、他市町村ではあまり見かけられないことです。これらの活動は、これまでの先人たちが続けられてきた貴重な財産です。これらを絶やさずに改良を加えながら、活動を継承していくことが大きな力に繋がると確信しています。

☆市民交流フェスタ (ボランティア in 交野)

日時 8月4日(土) 13時～
場所 ゆうゆうセンター4F 多目的ホール

☆健康福祉フェスティバル (ふれあい広場)

日時 11月11日(日) 10時～
場所 ゆうゆうセンター全館
模擬店は屋外広場

るまでに至りませんでした。多面的な検討を加えながら引き続き進めていきます。ボランティアサロンについては所属グループの協力をいただきながら、昨年と同様にボランティアセンターとの両輪で進め、新たなボランティアの発掘に努めていきます。そして、ボランティア連絡会所属グループの活動に、少しでも力添えができればと考えています。

ボランティア インタビュー62 福光和代さん(あい)



何かをしたい

京都の姪の家の近くに京都ライトハウス(北区紫野花ノ坊町)があり、彼女は学生時代から目の不自由な人に対面朗読をしていました。私も何かできたらいいなと思っていたとき、知人に声をかけられ「あい」に入会しました。それからが大変な日々の連続・・・九州育ちの私はアクセントに四苦八苦、今でも同じです。

それでも利用者の方々に喜んで貰え、仲間を支えられて、今に至っています。感謝の気持ちを忘れずに活動を続けています。

趣味は広く

いろんなことに挑戦してきたように思います。女性コーラス「コールポコ」で合唱を楽しみ、オカリナも演奏しています。そのオカリナを活かして地

域のホットサークルでは演奏と、皆さんに歌っていただくなどの活動を続けています。

自宅近くの「いきいきランド」で水泳教室に10年ほど通い、泳げるようになりました。

今は健康維持のため、周辺を毎晩近所の方とウォーキングを続けています。

また花が大好きで、狭い庭先で四季折々の花を育てています。

旅行も好きで、各地に出かけています。亡き夫との思い出もたくさんあります。海外旅行は友人と共に愉しんでいます。

自然に触れることが好きで、国内外の山歩きも随分しました。学生時代はワンダーフォーゲル部に籍を置いていましたから、その名残があるのでしよう。

これから?

超長寿時代の到来で、まず第一に健康に気をつけ、そして周囲には感謝の気持ちを忘れずに、日々の暮らしを楽しみ、過ごすことができれば、きっと有意義な人生になると信じて努力したいと思っています。

リーダー会議 (4月24日)

- ☆会長挨拶
- ・新年度を迎えて(1頁参照)
- ☆社協・青山事務局長挨拶
- ☆新年度役員・リーダー・社協職員自己紹介
- ☆連絡会より
- ・ボランティアグループ連絡会の会則・細則について
- ・平成29年度決算報告及び監査報告、実支出706,732円、次年度繰越金496,162円。
- ・事業積立金残高70万円
- ・平成30年度予算、収入見込み額946,162円、実支出553,180円
- ・30年度二大行事の日程と実行委員会構成について(1頁参照)
- ・Vセンターの大掃除について
- ・5月21日(月)、11月19日(月)リーダー親睦会について
- ・6月26日(火)に実施予定☆センターより
- ・夏の体験プログラム(7・8月に子どもを対象に実施)、協力可能なグループはセンターまで申し出てください。
- ・センター利用ガイドについて

(下段に続く)

- ・ボランティア依頼について
- ・コピー室の利用について
- ・警報発令時の施設利用等について
- ☆各グループから(省略)



先日、小学校の教頭先生から、「ともに学び、ともに育つ」というテーマで講演を聞きました。

講演の中で、13〜29歳の若者を対象とした意識調査により、若者にとって、人とのつながりや居場所の重要性を指摘されています。子どもの自己肯定感や充足感を増す経験が重要であるとの事です。その経験によって、人生の充実度が高くなるというのです。世の中全般に家庭教育力が低下していると言われます。豊かな人間関係作りの基本となる親子の触れ合いに要する時間や内容、また地域社会の役割がますます大切になってくるのではないかと感じました。

あいさつ運動や子どもたちとの触れ合い活動などを通して、子どもの自己肯定感や自尊感情が高まる事を期待するものです。

ワールドピース



(上) 会場風景「いきいきランド交野」周辺
(下) ホワイトボードで情報保障「星の会」



交野マラソン2018が復活 ゲームメーカーとして 「さつき」と「星の会」が参加

4月22日(日)、装いも新たに交野マラソン2018が復活、いきいきランド交野をメイン会場にマラソンが開催されました。今回はゲームズメーカーとして手話「さつき」と要約筆記「星の会」が参加しました。「さつき」は会場内の聞こえない人たちへの手話による情報提供を、「星の会」はホワイトボードやスケッチブックでランナーや観覧客の方々にも情報提供を行いました。

当日は、例年の雨天と違い、降水確率0%! 青空



の下、たくさんの方々が走り交う中、いろいろな役割のゲームズメーカーの応援もあり、交野の町はとも賑わっていました。スタート、ゴール、表彰式、総合案内所横と、大きな会場を舞台に、多くの人たちに、要約筆記や手話の活動を目の当たりに見ていただきました。



なぜドーナツには真ん中に穴が空いている?

お菓子のドーナツは1847年、アメリカのメイン州で生まれた。ただし、現在のものとは違うドーナツは、それ以前から存在していた。

ドーナツの「ド」は小麦粉を意味する「ダウ」、「ナツ」は木の実を意味する「ナッツ」のことであり、もともとのドーナツは、木の実大の小麦粉の塊を油で揚げたお菓子のことだった。

それに穴を開けたのが、1847年当時、メイン州に住んでいたハンソン・グレゴリーという船乗り。彼は、母親がドーナツを揚げているのを見て、ふと思いついたのである。

「真ん中に穴を開けると、まんべんなく火を通せるな。すると、真ん中が半生になることもなくなる・・・」と。

雑学「話のネタ」ノート」から

そ半世紀の物語だそうです。今回はおたふく風邪のウイルスが耳の中に入って発症するムンプス難聴により、左耳の聴力を失った女性がヒロインです。東京パラリンピック2020を意識しているのでしょうか。何はともあれ、このドラマが、「聞こえないこと」「聴覚障がい者」のことを知るきっかけになればいいと思います。初回の放送でヒロインは、片方の聴力を失ったことから、雨の日でも片方の耳にしか雨が聞こえないため、半分晴れていると言います。これからどういう風に描いていくのか注目です。みなさんもぜひご覧くださいね。(K・K)

みんなの広場

朝ドラ「半分、青い。」に寄せ

この4月から放送開始のNHKの連続テレビ小説、第98作「半分、青い。」は、脚本家・北川悦吏子さんのオリジナル作品で、故郷である岐阜県と東京を舞台に、ちよつとうかつだけれど失敗を恐れないヒロインが、高度成長期の終わりから現代までを七転び八起きで駆け抜け、やがて一大発明を成し遂げるまでのおよ

そ半世紀の物語だそうです。

(K・K)

春を満喫! 造幣局の観桜会



全員で記念撮影(シンガポールの女性が撮ってくれました)

4月10日(火)、恒例の「造幣局の桜の通り抜け」に行きました。この特別観桜会は一般公開の前日、高齢者、障がいのある方に、ゆっくり桜を楽しんでもらおうと招待してくださっています。「ほほえみ」に参加している方4名と活動を通じて知り合った障がいのある方4名、ヘルパーさん2名、ボランティアは「ほほえみ・かざぐるま」

ま・虹の会」から10名、合計20名が参加しました。JR河内磐船駅から乗車し、大阪城北詰駅下車、徒歩で造幣局に行きました。最高のお花見日和の中、汗ばむような陽気に満開の桜を堪能しました。造幣局では、招待者にお饅頭とペットボトルのお茶を用意してください、ボランティアもゆっくりお花を楽しませてもらいました。(栗原)

ボランティアセンター

春の大掃除 5月21日(月)

ボランティアセンターの大掃除を下記の通り実施します。今年は掃除の当番グループを昨年と違って春と秋をそれぞれ入れ替えておりますのでご注意ください。

センター登録のグループのみなさん、個人登録のボランティアの方々のご協力もお願いします。

記

日時 5月21日(月)(雨天決行)
10時~11時30分頃

当番グループ

あい、ほほえみ、ふれんず、糸ぐるま、HAND、ひまわり、玉手箱

ベルマークの収集にご協力ください

「ほほえみ」のグループで今年度から、ベルマークを集め整理をしてベルマーク運動に参加している団体(学校など)に提供することにしました。商品についているベルマークに気が付かれたら取りおいていただき、ボランティアセンターまでお持ちください。玄関横に回収ボックスを置いておきます。ボランティアグループ 「ほほえみ」



ミニ講座 in ボランティアサロン

ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流する会を、毎月ひらいています。

5月は、「何かしたいなと思っている人」「少し空いた時間を地域に活かせないかなと思っている人」を対象に、様々なボランティア活動やボランティアの心構えについてお話しします。

とき: 平成30年5月28日(月)
13時半~15時

ところ: 交野市ボランティアセンター
対象: 交野市と周辺在住、在勤、在学の方
参加費: 無料

申し込み: ボランティアセンター
(電話894-3737)